

令和4年度 第2回京丹後市スポーツ推進審議会会議録（公開用）

- ・ 会議名：令和4年度 第2回京丹後市スポーツ推進審議会
- ・ 開催日時：令和5年2月22日（水） 19時30分～21時20分
- ・ 開催場所：京丹後市大宮庁舎4階 第2，3会議室
- ・ 出席者：小谷順一委員（会長）、荒田義之委員（副会長）、小石原正志委員、田崎仁志委員、吉岡美乃里委員、川口勝彦委員、谷口正郎委員、杉本智委員、関利彦委員、
- ・ 事務局：松本明彦教育長、引野雅文教育次長、安達純生涯学習課長兼スポーツ推進室長、蒲田真穂主査、柴山真樹主任、永岡大樹主事
- ・ 議題及び会議の公開又は非公開の別：公開
- ・ 傍聴人の数：0名
- ・ 発言等の内容（要旨）：以下のとおり

1. 開会

事務局より、令和4年度第2回京丹後市スポーツ推進審議会の開会を告げる。

2. 会議の成立

事務局

最初に、「会議の成立」につきまして、ご報告させていただきます。京丹後市スポーツ推進審議会条例第5条により、本審議会の会議の開催につきましては、委員の過半数の出席が必要でございます。

本日は、委員12名中、9名のご出席がございますので、会議が成立していることをご報告します。

3. あいさつ

小谷会長

皆さんこんばんは。早いもので、もう2月の終盤になりました。今年は兎年ということで飛躍の年です。去年は戦いの年で大変なことが様々ありましたので、今年は明るい年になることを期待しています。5月以降は、新型コロナが現在の2類からインフルエンザと同等の5類に移行し、あらゆる面で規制が緩和されます。スポーツの分野も活発になり充実することと思います。本日は、計画の見直しが議題です。皆様の活発な意見をいただき

たいと思いますので、よろしく申し上げます。

教育長

本日は、ご多忙にもかかわらず、令和4年度第2回スポーツ推進審議会にご出席賜りありがとうございます。

令和4年度も残すところ残り1か月となり、教育委員会では、一年の締めくくりの時期に入っています。振り返りますと、一昨年度から新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市のスポーツ施策は大きな制限を受け、多くのイベントが中止、縮小を余儀なくされましたが、今年度に入り、感染リスクに細心の注意を払いながら、スポーツイベントを再開しました。8月には、久美浜湾でドラゴンカヌー選手権大会を開催。近畿各地から男女45クルーが、照り付ける日差しの中レースを繰り広げました。9月には3年ぶりに丹後100kmウルトラマラソンを実施。全国から2000人を超えるランナーが丹後路を駆け抜けました。11月の丹後大学駅伝では、沿道の応援を受けながら22大学がたすきをつなぎました。来年度以降もウィズコロナ、アフターコロナを見据えながらスポーツ施策を推進してまいりたいと思います。

本日は、第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて、諮問をさせていただきますし、見直しの基礎資料となる「スポーツに関するアンケート調査」の集計結果をご報告します。来年度から具体的に見直しにかかる審議に入っていただく予定としておりますので、忌憚のないご意見をいただけますと幸いです。どうぞよろしく申し上げます。

4. 諮問

第2次京丹後市スポーツ推進計画の中間見直しについて

5. 説明・報告事項

(1) 第2次京丹後市スポーツ推進計画の中間見直しについて

資料1 資料2 資料3 資料4

事務局より説明を行った。

質問なし

(2) 第2次京丹後市スポーツ推進計画について

資料5 資料6 資料7

事務局より説明を行った。

次のとおり質疑応答があった。

○委員

報告の中に、市が主催するスポーツイベントへの参加状況の集計結果があった。市主催のスポーツイベントとはどのようなものがあるか？私が知っている市主催のイベントは数少ないので、どういふものがあるのか知りたい。

○事務局

今年度のイベントを例に挙げますと、5月にはカヌースプリント大会、SUP大会、カヌーマラソン大会、下旬にはチャレンジデーを実施しました。6月には中学生ソフトテニス大会、はごろも陸上競技場で市民陸上大会、8月に入りますとドラゴンカヌー選手権大会、9月には丹後100キロウルトラマラソンを実施し、10月下旬にはジュニアカヌースプリント秋季大会を実施しました。また、野村克也メモリアル事業としまして、京丹後夢球場で元プロ野球選手との交流試合や野球教室を開催しました。11月には丹後大学駅伝、久美浜湾一周駅伝を開催しました。12月には、はしうど杯卓球選手権大会を行いました。

以上が、今年度の市主催のスポーツイベントの例です。

○会長

今の質問は、アンケート結果の53ページの図である。知らないと回答した割合が大変多いのですが、知らないわけではないと思う。これらのスポーツイベントが市主催であることに気づいていない。京丹後市民なら、いま事務局から挙げたイベントは知っていると思う。

○委員

今、聞いたイベントは、専門性が高いというか特殊な感じがする。ウルトラマラソンは参加できるかもしれないが、大学駅伝には参加できない。先ほど聞いたイベントは、スポーツをするという感覚ではない。私は、ノルディックウォーキングやペタンクなどもっと身近な微細なスポーツを想像していた。年代の大きな方も取り組みやすい簡単なスポーツがもっと出てくるのかなと思っていた。ちょっと認識が違いましたか？

○事務局

委員のおっしゃるように、市では、ノルディックウォーキングなどのニュースポーツ教室などもスポーツ推進委員会を中心に頻繁に実施しています。これらも市主催のスポーツイベントになります。

○委員

年代別参加状況を見て、具体的なイベントを例示する必要があるのかなと思う。

○事務局

委員のおっしゃるように、アンケートの設問に主な市主催のイベントの例を記載すればよかったかなと思います。知らないという回答が多いなと感じます。

○委員

資料5の1ページの3調査設計の(2)調査対象が19歳～79歳の市民となっていて、2ページの上段の表では、18, 19歳との表記、3ページ以降のグラフの縦軸は19歳以下となっていて、表記がまちまち。これはなにが正しいのか。

○事務局

18歳以上の市民を対象としましたので、1ページの表記は間違いです。18～79歳が正しい表記です。グラフも、18歳、19歳です。

○委員

資料1の諮問書の写しの(諮問理由)の最終行の「より効果的なスポーツ施策について、審議会の意見を求める」と、資料2の■計画見直しの内容を見ますと、審議会でどういう発言をしたらよいかわからない。時点修正なら審議会に諮らなくても、事務局が勝手に修正したらよい。もっと総括的な部分、アンケートから「時間がなくてスポーツができない。」とか「スポーツをする施設がない」とか課題がたくさん読みとれる。これら課題をクリアしていかないとスポーツ人口が増えない。次回審議に入る前に整理が必要だと思う。

○会長

今、アンケートから読み取れる課題の整理が必要であるとの意見をいただきました。整理しないと見直しができないというご意見でした。

○事務局

ありがとうございます。中間見直しですので、計画の基本理念や基本目標は踏襲しつつ、5年間の取組を振り返り、アンケートの集計結果から課題を見出しながら、目標達成のために市施策に何が足りないか、どのような事業をすればよいかなどを考えていきたいと思います。次年度の具体的な審議に入るときには、ポイントの整理などをしてお示ししたいと思います。

○会長

この場で多くの委員から意見を出していただくことで議論が深まっていきます。積極的にご意見をいただきたいと思います。

○委員

この場にいる方々はいろんな団体を代表しています。私は、青少年スポーツ協会を代表している。それぞれの代表が計画の中の施策のポイントを的確につかみずれないようにしないといけない。

18歳、19歳と20代の方の意見を合わせても数パーセントしかないのですが、これら若い方が50代、60代、70代の方々と感じ方や意見がどう違うのかといったことは重要なことだ。割合は少ないが、若い方々の意見をくみ取ることは大切。18歳というとまだ、高校生。高校生

は行政がイベントに参加するよう依頼すれば参加する。そういった方がアンケート対象者であると、イベントに参加したという回答になる。従って、アンケートの扱いが少し違うのかなとも思います。そういった詰めた内容も調べる必要がある。

具体的な審議に入る前に見方の整理をしておく必要がある。

○事務局

冊子の35ページから基本的な考え方、基本目標を掲げています。この4つの基本目標が現在の状況に合致しているのか、この目標を達成するためにはどのような取組が必要なのかといった審議をしてもらいます。アンケートの結果につきましても、特徴的な個所、課題などを整理して、委員の皆様にご意見をいただきたいと思っています。

○委員

一点、意見を言います。先ほどほかの委員もおっしゃったが、資料5のアンケート調査報告書の53ページに関して、市主催のイベントを知らないという人の割合が多かった。どうしたら認知度を上げることができるのか考えることが、この審議会の本当の狙いではないか。事務局から資料の説明・報告はあったが、真剣に議論する時間がない。当然、この審議会で議論すべきである。事務局から意見を求められたが、次回の審議会では資料の訂正をするだけではないか。もっと現実味のある審議会をすべき。努力すべき。

○事務局

今ご意見いただきましたように、市主催のイベントの認知度が低いこと、スポーツをする女性が少ないこと、委員皆様の感じる課題があります。それら課題を整理して、課題解決に向けた施策の提案やご意見をもらえるよう整理していきたいと思っています。アンケート集計結果だけでなく、皆様がかかわっている団体を感じている課題なども今後お聞きしながら進める必要があるかと思っています。まずは課題の整理から始め、市や関係団体の取組状況も調査し、不足する部分を明確にする作業が必要です。次回の審議会までに多くの整理が必要だと考えています。

○委員

時間はあるのか。

○事務局

来年度の審議会の第1回目を5月に予定しており、そこまでに課題などを整理します。

○事務局

課題を全部広げてざっくりばらんに全体的な審議をお願いしてもまとまらないと思いますので、次回はこの柱立てでとお示ししながら、事前に準備いただきそれに対してのご意見を持ち寄って審議いただき、深めていく。ある程度焦点を絞って、1回目で広げた議論を集約し次へ進めていくという手法がよいと考えています。

○委員

ですから、時間はあるのか？

せっかく、今日、こうして集まったのだから、この場でいくつか提案して進めていかないと資料作りができないと思う。年間、審議会を4回開くとなっているが、実際、4回もしていないじゃないか。

○事務局

今年度は、例年の回数ですが、来年度は見直しの年度ですので、4回程度は開催する予定です。来年度に向けて、今回はアンケートの集計結果をご報告しています。委員の皆様には、ご足労いただきますがよろしく申し上げます。

○会長

市では、多くの事業をしているので、せっかくであれば多くの市民に参加してもらう必要があると思います。ほかにも、アンケート集計結果から多くの課題が把握できると思います。ご意見がありましたら、発言をお願いします。

○委員

2点発言する。

1点目は、体育協会の法人化について。前回の審議会で、体協の役員をされている委員さんから現在の支部は解散するとお聞きした。今まで支部で行っていた各種事業はできなくなるということか。というのが、区長会に何も報告がないものだから、令和5年度からの各町の体育振興がどうなっていくのか見えない。スポーツ推進計画の見直しにも大きく影響する。今の状況を教えていただきたい。

2点目は、計画に関する事業の重複である。健康推進課で健康づくり推進員さんが地域で活動している。スポーツではないが、健康体操などに組み込まれている。こういった事業は、スポーツ推進計画に入っているのか。私は、スポーツ推進計画の事業と同じだと思うが。市長部局と連携が必要。あちこちで同じようなことしている、窓口が複数ある、対象の市民は1つ。連携が必要だと以前から思っている。スポーツ推進計画だけではなく、空き家対策についてもそうである。

○委員

1点目の質問について、体育協会の副会長をしているので、その立場からお答えする。体協本部から支部に対して説明をしてきたが、なかなか理解してもらえなくて、解決にまで至っていない。コロナ禍でもあり、法人化にかかる十分な説明が支部に対してできていない。従いまして、支部解散にかかる課題について今後1年かけて整理していく予定としている。

○委員

体協理事長として、少し補足させてもらう。支部は基本的に解散する。しかし、大宮は支部に

代わる振興会を立ち上げたいと希望している。ただし、従来のように事務員は配置できない。事務員は全員大宮社会体育館1か所に集結し、現在の6人から何人か減る。振興会は、ほかの競技団体と同等の立場でスポーツ協会に加盟してもらうことになる。協会の下部組織の1つとして加盟してもらう。スポーツ協会から振興会へ1競技団体として補助金を交付する予定である。このことを来年1年かけて支部に対して説明していくこととしている。

○委員

今の内容は前回の審議会でお聞きしましたので、大体わかっている。私が言いたいのは、間に合うのかということである。もう、2月下旬だ。支部が解散し、事務員もいなくなる、実際、振興会は活動できるのかといった不安がある。

○委員

振興会には、今の支部のような本部にすべて依存している体制から独立してくださいと話している。1つの競技団体として独立してくださいと早い時期から話している。支部の独立イコール振興会の発足。1つの競技団体として独立してもらい、地域の事業を実施するうえで協会から補助をしていこうということである。現在、21の競技団体があるが、各支部が地域振興会を設立したら21プラス6の27の競技団体となる。これら27の競技団体それぞれに活動資金を交付していく予定である。

○委員

その体制に移行するのは、令和5年4月1日からか？

○委員

4月1日から移行する。

○委員

何回も、各支部の支部長、各競技団体の理事、代表を集めて説明をしている最中である。従来と同じ形で補助金を交付し、1年間をかけて競技団体が確実に独立して欲しいという思いで指導していく。競技団体は、いつまでも本部に依存してはいけない、自立してもらわないといけないと思っている。

それから、今の会員は受益者負担の意識が薄い。してやっているという意識が強い。スポーツをするなら費用がかかるという意識は持ってほしい。会員からは、会費は払うがいくら返してもらえるのかといった意見が上がる。役員は、このことを疑問視している。スポーツをするのに「無料」はあり得ない。執行部は、会員に受益者負担という自覚を持ってほしいと思っている。

3月も役員を集めて説明会を開催する。ギリギリですが、今一生懸命説明を行っている。

○委員

そういった話が全く入ってこない。

○委員

我々は、支部長も競技団体の代表も役員も全部集めて何回も会議を行っている。ただ、それが皆さんの耳に入っていないかもしれません。

○委員

周りの方から「どうなっているのか」といった声があがっているので気になっている。

○委員

振興会設立は難しそうだが。

○委員

現在の支部から、振興会を立ち上げたいという要望がある。

○委員

丹後町や弥栄町のような小さな支部に自立しなさいと言っても無理である。小さな支部は事務局がいなかったら何もできない。1年間をかけて自立に向けて検討していく。最近になって会議を何回も重ねており、会議を持つことによってようやく情報が共有できてきたところ。

○事務局

2点目のご意見に対して事務局から回答します。

市役所の中で同じようなことをあちこちで行っているというお話です。計画の39ページにあります。高齢者向けスポーツの普及という事業は、健康体操、介護予防体操との連携を挙げています。市役所全体で各種の事業を連携しています。

○委員

本来なら事務局内に、健康づくり推進員の担当者が入るべき。空家対策も同じだ。空家を活かすのは、市長部局の政策企画課である。壊すのは建設部である。どちらでもいいが、空家を出さないことが大切である。スポーツの推進は教育委員会サイドだけで進めてもだめだ。市長部局も一緒になって進める必要がある。特に健康づくり推進員は応募性になり、選任性ではなくなったので。いくら計画に「連携」と記載してあっても連携になっていない。

○事務局

「連携」というからには、実質的に連携していきたいと思います。

○会長

連携は難しいようで簡単です。例えば、健康教室でノルディック・ウォーキングを周知すれば、それだけで連携になります。

○委員

どこに重点を置くかである。市民に重点を置けばいいと思う。

○委員

青少年スポーツ協会の状況を話す。青少年スポーツ協会は小中学生を対象としているので、このアンケート対象者から外れるが、指導者の層が対象になっている。

青少年スポーツ協会では、毎年、指導者に対して夏頃アンケートを実施している。市の事業計画に間に合うよう秋ごろにはまとまるようなスケジュールで実施している。施設のこと、ハラメントのことなど、指導者からいろいろ意見が出てくる。こういったことを活動に反映させていこうとしている。

ここにいる方々にスポーツに関するアンケートを取ったら1つの情報として活用できるのかなと思う。私は体育協会の一員ですが、例えば、体育協会にアンケートを介してスポーツ推進に関して総括をすとなにか傾向が出てくるのではないか。当然、体育協会は市民のために活動しているので、市民がスポーツに取り組むための活動ができているのかという部分が重要である。補助金は市民のスポーツ活動のためにはいつているのだから。

○会長

本日たくさんの意見をいただきました。これらの意見は、次回の審議会に向けて、事務局でまとめていただきたい。

○委員

アンケートの説明を詳しく受けたが、何について意見を言えばよいかわからない。どんな資料があればコメントしやすいか考えた。京丹後市、京都府、全国を比較し、京丹後市の課題を端的にまとめたものがあれば、意見が言いやすいと思う。

各団体の代表が集まっているので、その立場で意見を言ってもらいやすい。私だったら小学校の代表で出席しているので、小学校の体育の成績が非常に下がっている状況をもとに意見を言いやすくなる。より良い意見を出したいが、非常にとまどった会議であった。

○事務局

要点がなくてわかりにくい会議であったと思います。次回は要点を整理して議題に挙げることにします。

○会長

閉会に移ります。司会を事務局へ渡します。

○事務局

本日はお忙しいところ、また遅くまでご審議いただきありがとうございました。閉会にあた

り副〇会長様にご挨拶いただきます。

副〇会長

皆様ごくろうさまでした。

計画の中間見直しが始まります。本日大変多くのご意見をいただきましたので、事務局でまとめていただき令和5年度の5月には審議会をお世話になりたいと思います。